

みてみよう!

あなたもしているキリスト教教育(保育)

たむらなおおみ
一田村直臣のキリスト教教育論を鏡として一

講師: こみ 小見 のぞみ 聖和短期大学教授 RCCEC 主任研究員

コメンテーター&対話者: なかもち 中道 もとお 基夫 関西学院大学神学部教授 RCCEC 研究員

わたしたちが、学校や園、教会で日々行っているキリスト教主義の教育や保育は、どんな教育なのでしょう。それは、いわゆる「よい子教育」や道徳教育とは違うのでしょうか。それは、いつかキリスト教信仰を持ってくれるための種蒔きなのでしょう。

今から100年以上前、日本が開国して、宣教師たちがキリスト教という「福音」よい知らせを海の向こうから運んできてくれたころ、田村直臣という一人の大阪生まれの少年が、そのキリスト教と東京・築地で出会いました。そして牧師となって75年の生涯を、ただひたすら「子ども」と「教育」に捧げ、日本の日曜学校教育、宗教教育の父と呼ばれる人になったのです。

わたしは、田村がめざしたキリスト教の教育とは、どんな教育だったのかをずっとおいかけてきました。そして、この度、それを『田村直臣のキリスト教教育論—その形成と変遷を巡って—』(教文館より刊行予定)と題してまとめました。田村のキリスト教教育をみるのが、わたしたちのキリスト教教育・保育をみることに繋がると思ったからです。

今年の公開講座では、「田村直臣のキリスト教教育論」の一部をご紹介します。審査のために、わたしの論文を読んでくださった中道先生と、テーマを巡って語り合います。そのことを通して、あなたのしているキリスト教保育・教育が映し出され、示唆や希望が与えられるように願っています。

—講師からの呼びかけ—

日時:2017年9月7日(木)16:30~18:30 (入場無料/要申込)

会場:関西学院西宮聖和キャンパス 山川記念館2階 メアリー・イザベラ・ランバスチャペル

<プログラム>

16:30-17:30 講演 「田村直臣のキリスト教教育論」から

17:30-18:30 コメントと対話 中道基夫・小見のぞみ —そしてフロアの皆さんで

<申込方法> お名前・連絡先を、FaxまたはE-Mailで9月1日(金)までにお知らせ下さい。

主催:聖和短期大学 キリスト教教育・保育研究センター(RCCEC)

〒662-0827 西宮市岡田山7-54 Fax 0798-54-6514 / tandai-jimu@kwansei.ac.jp(短大事務室)

